市営霞ヶ浦総合公園の対話結果の公表について

令和7年3月28日

(土浦市 都市政策部 公園・施設管理課 公園緑地係)

土浦市では霞ヶ浦総合公園の魅力向上に向けて、公募設置管理制度（Park-PFI）等の制度を活用した官民連携による事業化を検討しているところです。

このことから、サウンディング型市場調査を実施し、事業化の可能性やアイデアについて、民間事業者にはアヒアリングを行い、その結果について、以下のとおり取りまとめました。

1. サウンディングの実施スケジュール

サウンディング実施要領の公表	令和6年12月23日（月）
現場見学会	令和7年1月30日（木）、令和7年1月31日（金）
サウンディングの実施	令和7年2月10日（月）～令和7年3月3日（月）

2. サウンディングの参加者

サウンディング参加事業者 8社（内 現地見学会のみ参加事業者 1社）

3. サウンディング結果の概要

① 霞ヶ浦総合公園及び周辺地域のポテンシャルと課題について
<ul style="list-style-type: none">● 市の関連計画等との関わりや連携を意識することで、広がりのある事業になる期待が持てる。● 平日の昼間でも利用者がおり、周遊性等の課題解決をすることで、集客力向上が図れる。● 大きな公園およびスポーツ施設があり、人を呼び込めるポテンシャルはある。ただし、老朽化している施設の改修や現在の利用者ニーズへの対応、ゾーニングの見直しが必要。● 交通の便の良さ、商圏人口の多さに加え、イベント開催にあたって活用できる施設が多数ある。● 湖畔景観や立地のほか、地元根付いた土浦市にはなくてはならない場所となっている。● 水辺の憩いの場として、地域の中心的な場所となる。● 広大な敷地に関わらず、高低差が少ないことから、新モビリティの導入の可能性やニーズが高い。
② 霞ヶ浦総合公園での事業参入にあたってのターゲットや導入施設のイメージについて
【ターゲット】 全世代、子育て世代、スポーツ施設の利用団体、レジャー施設等による利用者層の拡大
【導入施設等】 キャンプなどのレジャー施設、自然体験や水辺アクティビティの入門・体験の拠点施設、屋内遊び場等の全天候型の遊び場、飲食店、新モビリティ

4. サウンディング結果を踏まえた今後の方針

本事業については、今回のサウンディングにご参加頂きました事業者の方の他にも数多くの事業者の方からご提案、ご意見を頂いております。これまで頂いたご提案等を参考に事業化に向けた検討を進めてまいります。今後の予定としましては、本サウンディングでの対話を踏まえて、令和7年度の公募を目標に、事業方式や公募条件の整理・検討を行います。